

適性検査の目的が変わる？ 入社後の“成長”のために必要な3つのこと



はじめに

日本経済団体連合会「新卒採用に関するアンケート調査結果」によると新卒の採用選考にあたって特に重視したい点の上位は

「コミュニケーション力」「主体性」「チャレンジ精神」

が例年上位に君臨し続けています。

ですが、最近の研究で、こういった資質も年齢とともに高くなるということが分かり始めています。しかも、特に20代～30代、40代～50代で高くなっているのです。

資質が伸びるものであるということは、適性検査は

「採用選考」に加えて、

「成長を見える化する」ツールであることが求められます。

STEP1 性格スキルと仕事のパフォーマンスとの相関関係

※「性格スキル」: 心理学、経済学で非認知能力と呼ばれてきたもの。

心理学の世界では5つの因子(ビッグ・ファイブ)に分解できることがコンセンサスとなっている。ビッグ・ファイブとは、「開放性」「真面目さ」「外向性」「協調性」「精神的安定性」の5つである。

(参考文献: 『性格スキル - 人生を決める5つの能力』 鶴 光太郎 教授)

性格スキル

性格スキルが高いと認知能力(学力やIQなど)も伸びやすい

(米シカゴ大学のジェームズ・ヘックマン教授)

- ・非認知能力を「性格スキル」と呼びかえ、学歴を問わず性格スキルと賃金のあいだに正の相関関係を見出した
- ・「真面目さ」が仕事の成果を決める因子として最も重要である。続いて「外向性」「精神的安定性」「協調性」「開放性」の順に、職種によって、仕事のパフォーマンスとの関係が強い。
- ・性格スキルが高いと認知能力も伸びやすい。しかし、その逆は明らかではない。

STEP2 性格スキルは社会人になってからも“伸びる”

社会人も伸びる

多くの性格スキルは社会人になってからも十分に伸びる



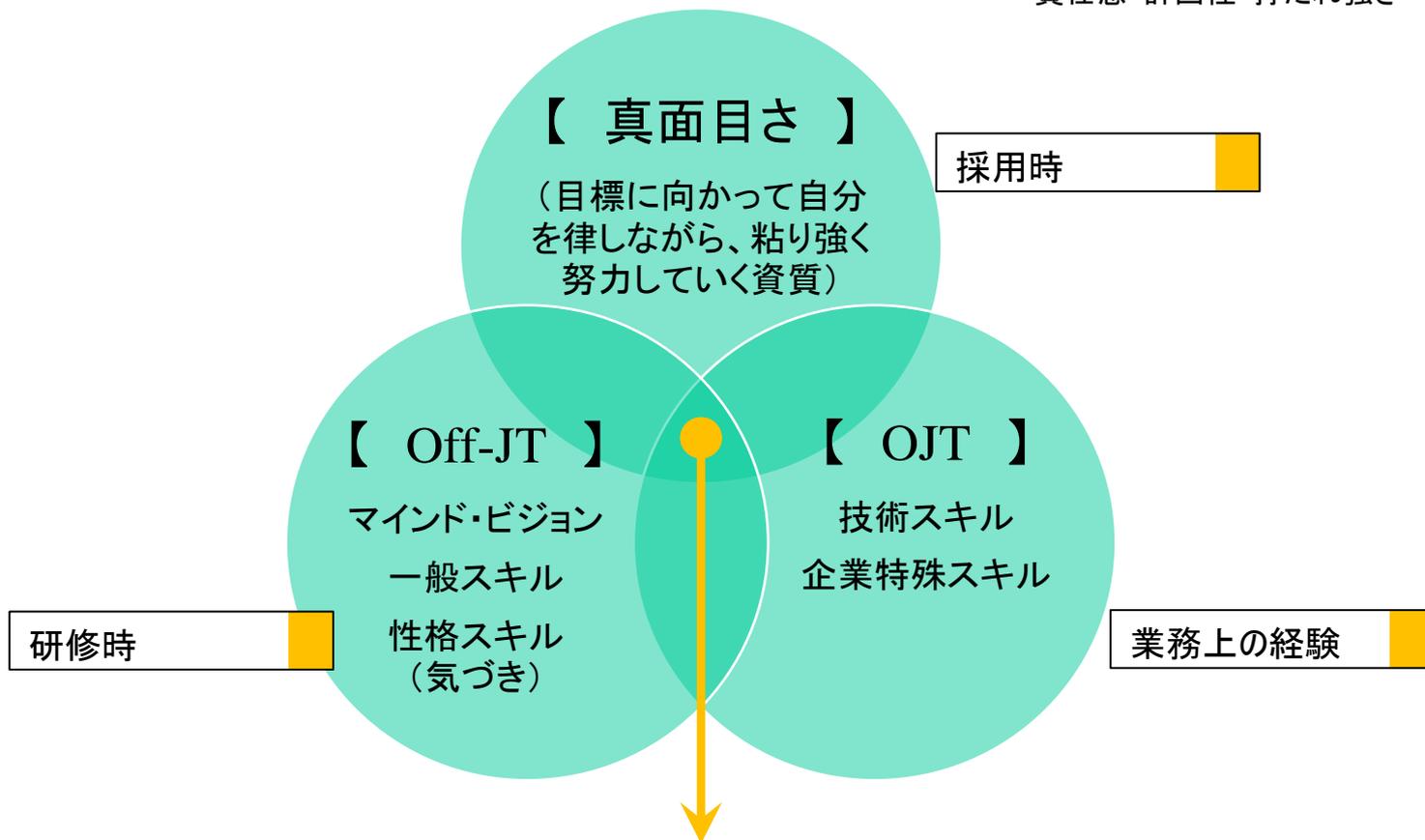
- ・「真面目さ」は、人生を通じて伸び続ける。
- ・「協調性」や「精神的安定性」も、大人になってからの“伸びしろ”が大きい。
- ・逆に好奇心や想像力の源となる「開放性」と、「外向性」のうちの「社会的バイタリティ」(一人を好まず群れたがる性向)は10代では伸びるが、後の人生では低下している。
(イリノイ大学のブレント・ロバーツ教授らの研究)

STEP3 成長のために必要な3つのこと

「真面目さ」を基本姿勢としつつ

OJT および Off-JTを積み重ねていくことで仕事力を高める

※「真面目さ」:BPASSサーベイ項目
責任感・計画性・打たれ強さ



成長・パフォーマンスを高める

会社が求める人材像の資質が年齢とともに伸びるという前提に立てば、入社時の適性検査の目的は、

☆「成長をうながし、また成長を見える化すること」
「育成課題を抽出し、サポートの仕組みづくりをすること」
に変わるのではないのでしょうか。

入社後に成長するという前提にたった適性検査の活用を考えましょう。

☆ 適性検査を選ぶポイント

本人に対し

- ①「役割期待を明示」(自社の求める資質と項目が合致していること)
- ②「現状の自分に気づき」(本人へのフィードバックができる)
- ③「なりたい姿を描く」(解決法への道筋を考えるキッカケとなる)

会社にとって

- ④「課題を可視化」(データ分析することができる)

BPASSサーベイ(適性・適職診断)が上司部下間の共通言語に

ビジネスパスポートのBPASSサーベイは、
個人の自己認識、仕事力向上を考えるためのツールです

個人毎の能力向上のための課題を明確化

「現状の自分に気づき」「なりたい姿を描く」
自分自身の強み・弱みを客観的に見直すツール

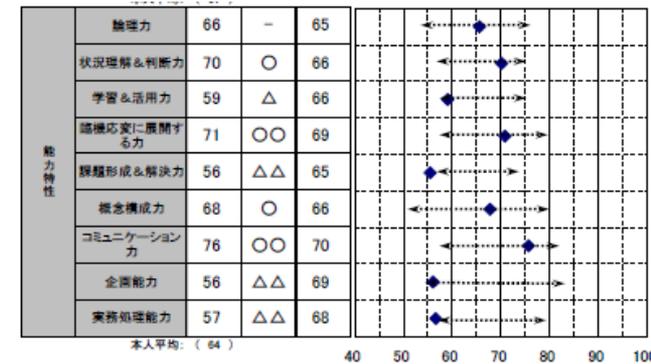
上司部下間の
コミュニケーションツール

上司から部下に対し、「役割期待を明示」
振る舞い・行動を明確に、具体的に伝えるための
コミュニケーションツール

(パーソナリティコメント)

	← 強み □□ (本人平均に対して高得点)	□□ 弱み → (本人平均に対して低得点)
基本的性格	○ ○ 「リーダーシップ」 (中でも「経率性」が高得点) 組織のメンバー特性に合わせてテーマを付与・動機付け、目標達成に向けて主導していきます。	△ △ 「受容性」 (中でも「受容の広さ」が低得点) 自分と異なる考えを拒み、人間的つながりを築いてもらう傾向が見受けられます。意識して冷静に、もう一度相手の考えを聞いてみるよう心がけましょう。
	○ ○ 「独自性」 (中でも「視点の独自性」が高得点) 慣習や型にはまらず、他人とは異なるもの見方や着眼点で物事を捉え、自分の考えを積極的に主張し、個性を活かしていきます。	△ △ 「協調性」 (中でも「共感性」が低得点) 周囲の意見や気持ちを尊重できず、チームの協力を乱し孤立してしまふ傾向が見受けられます。意見を尊重し、まずは率直に周囲の意見を聞くよう心がけましょう。
基礎能力	○ ○ 「表現力」 共に働く仲間との連携や、外部とのやり取りにおいて、自分の意図や心情を、会話や文章等で相手に分かりやすく伝えることができます。	△ △ 「洞察・推察力」 物事や人間関係の背後にある関係性や構造を読みとるのが苦手です。必要なときに断った見直しを持つことも考えられます。積極的できちんと人の意見・行動を参照しつつ、自己啓発にも努め、正しい見直しを持つよう心がけましょう。
	○ 「論理力」 事業や企画等の視野となる概念や仕組みを構造的に把握し、手堅く筋道を立てて考えたり、理路整然と物事を説明していくことができます。	△ 「知覚・認識力」 置かれた状況や物事の状況の認識が苦手です。周囲の変化を見逃し、着目しない行動を取ってしまう傾向が見受けられます。自分の行動基準を定め、時々判断に振り回されないか、チェックを心がけましょう。
応用能力	○ ○ 「企画能力」 消費者や顧客のニーズを把握した上で、自らの立案に基づいて計画を作成し、スケジュールをもとめて他者に提案することができます。	△ 「状況理解&判断力」 局面に応じた判断を下すことが苦手です。周囲の状況を冷静に読み取ることで、的確な行動が取れるようになる傾向が見受けられます。上司・友人の意見・行動を参考にし、状況の変化に対応し、時機にあった判断をするよう心がけましょう。
	○ 「臨機応変に展開する力」 職務経歴の中で習得した知識やスキルを更に発展させ、臨機応変に自ら考え行動していくことができます。	- 「学習&活用力」 特定の知識やスキル、物事の原理・法則を、適切に他の場面に応用していることが苦手な傾向が見受けられます。苦手を意識し、頭を柔らかく、繰り返し起こる出来事や習慣化を図ることにより、的確な対応を心がけましょう。
パフォーマンスレベル	○ 「行動力」 (中でも「モチベーション」が高得点) 自らの高動機によって、周囲に対し強い影響力やインパクトをみせていく力があり、ビジネス場面でも、印象深い働きかけによって、相手の共感を引き出していきます。	△ 「情報収集力」 (中でも「敏感さ」が低得点) ともしも、周囲の動きを察知することができます。必要な情報を早くキャッチできなくなってしまうことが考えられます。

(能力特性)

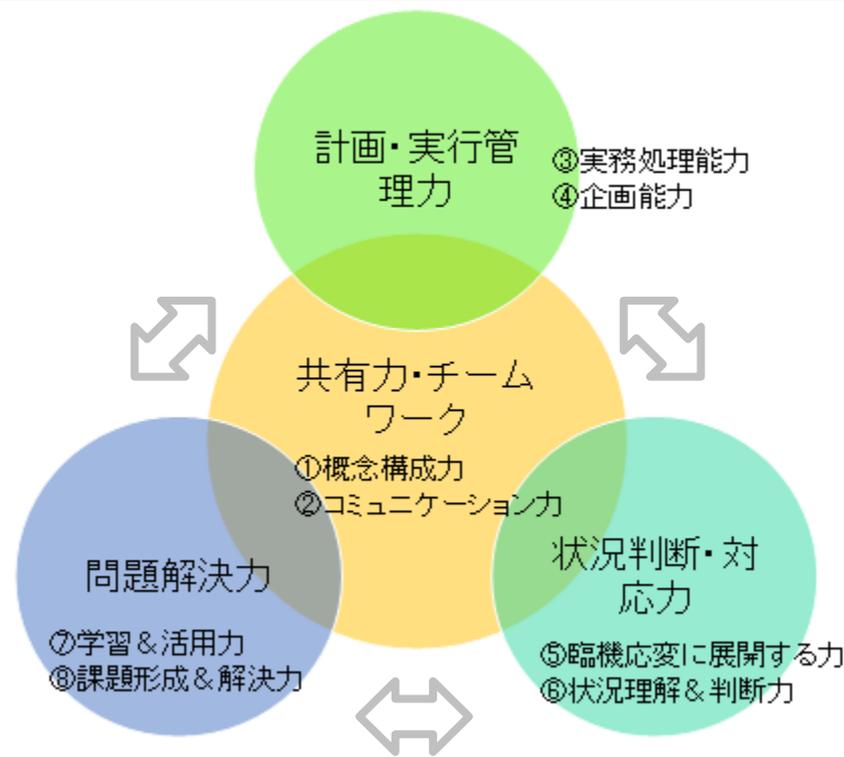


株式会社ビジネスパスポート

URL <https://www.bpass.co.jp>

時間	項目	内容	研修方式
13:00	1. オリエンテーション 研修の進め方		
13:10	2. BPASSサーベイ結果報告書 (1) 自分の強み弱みを知る (2) 自分が思っている自分と 仕事力診断結果のギャップを知る	・BPASSサーベイの読み方、 注意点等について説明 ・職種で求められている能力を知る ・ギャップを確認し、社員 として仕事をしていく上で の自分の性格的特性（強 み・弱み）を理解する	練習 ワーク
自己認識(強み・弱み)			
13:30	3. なりたい自分像を自覚し 各自の目標設定	・ゴールを定める 強みを磨く1つ 弱みを強化1つ	練習 ワーク
14:00	スキル1「思考を進める」 自分と対峙し、自身の強み・弱みをより深く、 広く理解する	・情報を引き出し「思考を 進める」ための考え方を理 解し、基本を習得する	練習 演習
14:30	休憩		
14:40	5. スキル2「スケジュール作成」 優先順位の考え方、スケジュールの考え方 の理解を深める	・業務の取組みを考え、効 果的な仕事の取組が取れる ように基本を学びます	練習 演習
15:00	6. スキル3「リフレーミング」 状況対応するために、物事を見る枠組みを 変えて、見直すか考え方の理解を深める	・状況をどのように整理し、 力に変えていく考え方を理 解し、基本を習得する	練習 演習
15:20	休憩		
15:30	7. スキル4「PDCA」 (1) ゴールを設定する (2) 課題を考える (3) 課題の絞りこみ (4) 解決策を考える (5) 解決策の優先 (6) タスク化 (7) 見える化	・ゴールをタスクに落とし 込む考え方を理解し、基本 を習得する	ワーク Gr 対峙
強み・弱みを伸ばすための 4つのスキル			
16:20	8. 「ワークであなたのゴールを具体的な 目標に落とし込みましょう」を完成する あなたの強みをどのように活かし、弱みを どのように強化していきたいかをまとめる	・今後仕事に取り組む上で の自己啓発を「タスク（具 体的な行動目標）」として設 定する	ワーク
16:30	9. 宣言「タスク（具体的な行動目標）」	・決意を言葉にする ・違う特性を持つ人がいる ことを知る	Gr 発表
具体的な行動目標策定			

BPASSサーベイ応用能力傾向



<強み・弱みを伸ばすための4つのスキル>

共有力・チームワーク

● 思考を進める

計画・実行管理能力

● スケジュール作成

状況判断・対応力

● リフレーミング

問題解決力

● PDCA

